

ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録 3 : 8

VOL.01-07 NO.007 2009年10月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール:nanbu-kyokai@nifty.com

URL:<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

つもりちがい

橋本幸夫

「わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。」

(マタイ 11 : 29)

小田原の茶店にオモシロイことばがあります。〈つもりちがいの十条〉です。

- 一条、高いつもりで低いのが〈教養〉
- 二条、低いつもりで高いのが〈気位〉
- 三条、深いつもりで浅いのは〈知識〉
- 四条、浅いつもりで深いのは〈欲の皮〉
- 五条、厚いつもりで薄いのは〈人情〉
- 六条、薄いつもりで厚いのが〈面の皮〉
- 七条、強いつもりで弱いのが〈根性〉
- 八条、弱いつもりで強いのが〈我〉
- 九条、多いつもりで少ないのが〈分別〉
- 十条、少ないつもりで多いのが〈無駄〉

私たちの人生には、つもりちがいが多くあります。クリスチャンになってこんなはずではなかったと思っていることも多くあるでしょう。

さて、冒頭のみことばです。イエスは自叙伝を書かれてはいませんが、ここではご自分のことを「わたしは心優しく、

へりくだっている」と言っておられます。

その著書よりも偉大であると言われたアンドリュー・マーレーという方は、〈謙遜〉という名著を書いています。その中にくわれらが神の前にへり下っていると考えることは容易である。しかし人々に対する謙遜こそ、神の前における謙遜が本物であることの唯一のまた十分な証拠である。〈自分たち自身がどのような者であるかを本当に示し、また悟るのは私たちが最も油断している時である〉と言うのがあります。私たちの最も油断しているときこそ私たちの真相が暴露される時です。

牧師や伝道者も試練がきた時、あるいは親しく交わって見ると、悲しいことであるが、永続的な品性として謙遜をほとんど持っていないことを暴露するのです。

りっぱなクリスチャンでありながら、謙遜な神と人のしもべであるような人々こそ、神の国の宝です。真に偉大な人物の第一のテストは、その人が謙遜であるかどうかということです。

私たちは〈つもりちがい〉をしていないでしょうか？